

幸せになつてほしい。 そして、同じくらい 他者の為に生きてほしい

学校法人聖隷学園(聖隷クリストファー大学) 理事長 長谷川了
まごめ/堀水潤一 撮影/中岡邦夫



【理事長プロフィール】1942年生まれ。明治大学工学部卒業。一般企業を経て、68年聖隷保業園(現 聖隷福祉事業団)法人事務局に勤務。学校法人聖隷学園 事務局長、評議員、専務理事を経て、89年より現職。静岡県私学協会会長、静岡県私学教育振興会理事長など役職多数。
【大学プロフィール】1992年開学。看護学部、リハビリテーション学部、社会福祉学部(社会福祉学科、こども教育福祉学科)の3学部4学科体制。聖隷グループはキャンパスのある三方原を中心に全国約300カ所に医療・福祉・教育施設をもつ。

本学の原点は、若いクリスチャンが結核患者のために建てた小さな病舎にあります。戦後、教育事業に取り組み、現在は、中学校から大学院を持つまで発展をとげました。その間、変わらぬ教育理念は「生命の尊厳と隣人愛」。「自分のようにあなたの隣人を愛しなさい」という聖書の一節によるものです。

医療や福祉に携わる者が相手にするのは、苦しみを抱えている人たちです。例えばリハビリテーションの場では、絶望を味わった人が、もう一度人生を歩み始めるお手伝いをします。その際、その人と共に生きるという気持ちが必要だと務まる仕事ではありません。ましてホスピスのような場所で働く場合、患者さんの悲しみや不安、痛みを、自分のことのように理解できなければ、その人の人生に寄り添うことなどできないでしょう。

そうした隣人愛の精神をもつ人材の育成を目的に、現在本学では、新校舎の建設、大学院の再編成、認定こども園の開設など、様々な計画が進行中です。なかでも、実現すれば日本初となるメディカルスクール(医師養成大学院)構想は、医師養成の新たな流れを作ることになると期待しています。ペーパー試験の成績だけではなく、志や目的意識をしっかりと

もつた医師を養成していきたいのです。人は、人のために生きるときに輝き、満足感を得るものです。本校の卒業生には、暖かい家庭を持つなど、幸せになつてもらいたい。と同時に、同じくらい他者の為に生きてほしいと思っています。

実際、聖隷三方原病院をはじめ、キャンパス周辺に20以上ある聖隷グループの医療福祉施設はすべて隣人愛の理念を共有し、また研修も厳しいことから、献身的に働く卒業生の姿が目に入ります。どうぞ高校生の皆さんには、学校を見学するだけではなく、卒業生を見ていただきたい。そして、「ああいう人になりたい」と思えたとき、ぜひ本学に来てほしい。「地元と業界はごまかしが効かない」という人もいます。派手に宣伝をしても、自身が伴っていない場合は意味がありません。反対に、地道に活躍する卒業生がいれば評判は広がっていくと信じています。本学の学生の多くは静岡県あるいは愛知県東部の出身です。つまり地元から集まり、地元で就職するのです。だからこそ、地元の方に「この地域の看護福祉レベルは日本だ」といわれるよう、また「この地域に暮らせて幸せだ」と思われるようになりたい。だからこそ、私たちが最大の目標にしていることです。